

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名 (市民文化祭事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (02020000624), 所属課 (生涯学習課), 予算科目 (一般会計, 文化振興事業), and 法根根拠 (市民文化祭補助金交付要項).

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (概要, 内容) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (業務内容, 手順).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and various indicators (活動指標, 対象指標, 成果指標) with data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 29, 30, 01 years across various categories like 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費 予算 (千円) with a total of 810.

Table for (4) 当該年度の実施内容, detailing 01, 02, and 03年度事業内容 with a note and arrow pointing to specific items.

事務事業名	市民文化祭事業	事務事業No.	20202000624	所属課	生涯学習課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
市民の芸術活動の成果発表、展示発表を行い多くの市民が鑑賞する機会を設ける。心豊かで潤いのある桜川市の文化振興に寄与することを目的として開催。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成28年度より文化協会を専門部に再編したことにより、市民文化祭の開催についても、専門部を中心として運営を行いスムーズの開催することができた。各催事とも参加者の貴重な発表の機会、交流の場として市の文化振興に寄与することができた。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	生涯学習、芸術文化活動の推進に整合
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民の文化芸術活動の発表の場を提供している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化協会の専門部を中心に開催することで、専門性の高い催事に発展できる可能性がある。また、若年層の出展、出場が少なことから、何らかの企画を試み、広く文化振興を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民の文化活動の成果を発表する機会や場所がなくなることになり、生涯学習、文化活動の促進が図れない。市の文化振興が低下する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	市民文化祭自体がまだ未熟なところもあるため、連携を考える段階ではない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	各催事を開催するにあたり、最低限の事業費であるため削減は難しい。専門部での活動が少しずつ自立してくれば、人件費の削減は可能であるが、まだ時間を要すると思われる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民文化祭ということで、市広報誌やHP、チラシ等で広く一般参加者を募り、実施している。催事によっては、文化協会加盟団体だけではなく、一般市民や市内高校生の団体などが参加できる文化祭として認識されてきている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	平成28年度より文化協会専門部を中心に運営を行い、市民の文化祭としての意識が広がってきている。また、作品展については、初めて会場を1か所で開催。ただし、高齢化により作品出展数が減少しているのは事実である。音楽祭、芸能祭については、概ね自主運営ができる体制となっており、近い将来、自立運営が可能であると思われる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
文化協会専門部会との連携・協力により質の高い発表を実現する。作品展では30年度に新しいジャンルとしてテーブルコーディネートが加わり好評だったため、今後もこれまでになかった作品発表の場とすることで幅広い層の来場が期待できる。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	①																							
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>